

The Atlas

< 2024年3月号 >

【2024年の座右の銘】

「読む」ことは、自分を奏で、他人を共振させること。」三田村雅子(源氏物語がわかる より)

キミらしい「noblesse oblige」を実践してみよう

noblesse oblige (フランス語: noblesse oblige) という言葉を聞いたことがありますか？

多くの日本人は知りませんが、ヨーロッパ諸国では古くからある伝統的な精神の1つです。「noblesse oblige」は「高貴な立場にある者には、他人に対して背負うべき義務がある」という意味です。この言葉は19世紀に広く世に知れ渡ることになりましたが、その精神はローマ時代からみられました。貴族が道路や建物などの整備における建築費を支払ったり、英国では、戦争の際に貴族や王族自身またはその子弟が進んで前線に赴くこともあったようです。現代では、社会的に成功した人々が寄付をしたりボランティア活動を行ったりすることも、この一部ともいえるでしょう。

もちろん私達は貴族でもなく高貴な立場でもありません。ですが、こうした伝統に無関心でいいのでしょうか。

以前、東京都にある東京都市大学等々力中学校を訪問した際、校内に「noblesse oblige」の文字を発見して先生に確認したところ、「noblesse obligeを心がけるのは、貴族だけではなく一般的な『紳士・淑女』の人々もそうです。高潔な信念や思想を持ち徳を積む事を心がける人、またそれを目指す人ならば、noblesse obligeを実践すべきです。つまり、若いうちからプリンシプル(信念・信条)を持つために、意識してnoblesse obligeを実践してもらいたいと思います」という回答が返ってきました。

それでもなにか難しいなど感じる人もいるでしょう。塾長なりの解釈を加えて簡単にいうと『自分はこうなりたい』と思う人がそれを達成したときに、他の人に何かお返しに良いことをする、または言葉で表すこと』なのではないでしょうか。

例えば受験もそうですね。合格通知を貰い、うれしい気持ちだけを伝えるのではなくて、家族や友人そして先輩や後輩に言葉や態度で感謝の気持ちを表したり励ましたりすることも、立派なnoblesse obligeだと思います。これは、これから受験を迎える人にも同様のことがいえますね。受験勉強は決して1人ではやっていけません。多くの人の支えが必要です。志(こころざし)を持って受験をするわけですから、自分の覚悟を示すためにも「これから大変な受験でいろいろ迷惑をかけるけど、私も頑張るから一緒に頑張るな！」と声をかけていくこともまた、キミ版の「noblesse oblige」だと思います。

キミなりのnoblesse obligeは見つかりそうですか？決して難しく考えず、まず周りのみんなを言葉で励まして元気にし、そして自分の未来の目標を明確にして、それが誰の役に立つのかを考えてみましょう。こうした事から、こつこつと、noblesse obligeを実践していくのもよいと思います。

